

第1回市民懇話会の振り返りと課題の整理

議題 3

目次

1	富士市の緑を取り巻く状況の変化	... 2
2	現計画の目標達成と施策の進捗状況	... 3
3	市民意識 4
4	第1回市民懇話会の主なご意見 5
5	課題 6

1 富士市の緑を取り巻く 状況の変化

第1回懇話会より

富士市の 概況

- 人口は減少傾向にあり、少子高齢化が進む見込み
- 市街化区域において宅地が増加し、緑（主に農地）が減少
- 都市公園は現行計画策定時から約7ha増加

国や県の 施策

- まちづくりの施策は、人口減少傾向を見据えた持続可能なまちづくりに転換
- 緑についても、人口構造や環境の変化に対応を図りつつ、適切な維持・保全、活用を重視する方向に転換
- 新たな視点として、「グリーンインフラ」「カーボンニュートラル」「ネイチャーポジティブ」「Well-being」を意識した取り組みが必要

2 現計画の目標達成と 施策の進捗状況

目標達成 状況

- 達成には至っていないが、都市公園の市民一人当たりの面積（量的目標）や、市民満足度（施策に対する成果目標）は、目標に近づく方向で推移

施策の 進捗状況

- 現計画の施策は概ね実行され、順調に推移
- 実施しているものの進捗に課題のある取組は、湧水地の保護・整備と観光資源としての活用、比奈公園の整備など
- 未着手の取組は、公園のストック再編など

3 市民意識

アンケート結果のまとめより

緑の豊かさ

- 緑が豊かだと感じる割合は、現計画策定時より上昇
- 一方、居住地周辺の緑は減っていると感じる人の方が多い
特に住宅地の緑、樹林などの自然の緑の減少を感じている

緑への満足度

- 富士山を望む市街地の景観への満足度が高く、自然の緑の豊かさ、水辺の豊かさ、市民活動の活発さなどにも一定の満足度が見られる
- 全般に、現計画策定時と比較して不満を感じる割合は低下

期待する取組

- 緑化・緑地保全に特に期待する役割は、良好な景観形成
- 今後の取組として、子どもが花や緑、自然にふれあえる場や機会の充実を期待

4 第1回市民懇話会の 主なご意見

市内の緑

- 十分な手入れ・管理ができていない緑が増えている
(庭木、寺社の大木、工場の緑地帯、公園、道路、山林など)
- 市外の人を案内したくなるような緑が少ない

公園

- 樹木の伐採が非常に多い
- レクリエーション機能を高めることで、市の魅力になり、地域の活力につながるのでは？
- 身近な公園に、災害時に活用できる設備を備えてほしい

市民の 活動

- 家庭に緑を少しでも植えれば、市全体がもっと明るくなる
- 公園愛護会など、活動のPRが必要
- 緑と花の百科展に若い親子連れの参加が増えたことは、緑を次の世代に伝えるためにもよいこと

5 課題

計画全体の
方向性

既存の緑の維持・保全と活用を一層重視する
段階への移行

身近な緑
や公園

身近な緑と公園の適切な管理、再生

市全体の
緑

富士山を望む景観形成、
安心して快適に暮らせるまちづくりに
つながる緑の充実

緑を
支える
体制

市民・事業者との協働
次代を担う人づくり